

日本死の臨床研究会教育研修委員会主催  
2019年度第1回 教育研修ワークショップ

教育研修委員会では「死の臨床におけるコミュニケーション—スピリチュアルケアを目指して—」をテーマとした教育研修ワークショップを毎年3回開催しており、参加者から毎回高い評価を得ております。今回は、2年ぶりとなる2日間のワークショップです。

じっくり学べる機会ですので、奮ってご参加ください。

**日時：**2019年7月6日（土）10：00～7月7日（日）16：00

**場所：**東邦大学医学部（〒143-8540 東京都大田区大森西5-21-16）

JR京浜東北線蒲田駅下車、東口2番大森駅行きバスで約10分、「東邦大学」下車。または、京浜急行線梅屋敷駅下車、徒歩約10分。

羽田空港からは京浜急行で、京急蒲田で普通に乗換えひと駅。

**主題：**死の臨床におけるコミュニケーション—スピリチュアルケアを目指して—

**学習目標：**

1) 一般目標 (General Institutional Objective, GIO)

緩和ケアのプロとしてターミナルケアの現場でのコミュニケーションに熟達するために、必要な知識・技能・態度を身につける。

2) 個別行動目標 (Specific Behavioral Objectives, SBOs)

(1) 緩和ケアの現場でのコミュニケーションに関する問題点の概略を述べる。

(2) コミュニケーションの基本となる、観察、傾聴、確認、共感について理論を述べる。

(3) 観察・傾聴・確認・共感の基本的技術を演じる。

(4) 緩和ケアの現場での観察、傾聴、確認、共感を得る態度を演じる。

**内容：**少人数グループ討論、ロールプレイ、ミニレクチャー、演習、交流会などを中心にした参加型学習で、死の臨床（ターミナルケア）における患者—医療者、家族—医療者、医療者—医療者間などのコミュニケーション技法を学びます。

**参加資格：**特にありません。学習効果をあげるために、死の臨床のコミュニケーションに関するレポートを提出していただければと思っております。

詳細はお申込み後のお知らせをご覧ください。

**参加費**（資料代・交流会費を含む。宿泊代、朝食・昼食代は含まれません）：

日本死の臨床研究会会員 16,000円、非会員 20,000円、前納のみ受け付けます。

なお、ワークショップは交流会を含むプログラムですので、不参加でも割引はありません。宿泊は各自でご準備下さい。

**申し込み方法：**[7/6~7 東京教育研修ワークショップ参加申し込み]と記載し、下記の事項を明記のうえ、ウェブサイトのお問い合わせフォーム、FAXのいずれかでお申し込み下さい。

氏名（必ずフリガナを）、連絡先の〒・住所・TEL、勤務先名称、職種、

メールアドレス（連絡に必要）、会員番号（会員の場合）。

**申し込み締め切り：**2019年6月14日（金）（それ以前でも40名に達し次第締め切ります）

**申し込み先：**日本死の臨床研究会本部事務局

〒187-0012 東京都小平市御幸町131-5 ケアタウン小平内、

URL：<https://www.jard-info.org/>、FAX：042-312-0025

申し込み受付後、本部事務局より精細なお知らせをお送りいたします。

申し込み後1週間しても連絡のない場合は、お問い合わせ下さい。